

**「森の力再生事業」と「森林(もり)づくり県民税」
の継続についての県民アンケート
調査報告書**

平成 27 年 11 月

静岡県森林計画課

I 調査の概要

1 調査の目的

平成 18 年度から、「森林（もり）づくり県民税」を財源とし、「森の力再生事業」による荒廃森林の整備を進めてきた。この調査は、「森の力再生事業」への県民の評価と、事業継続への県民の意向、課税についての負担感等を把握し、事業の見直しや税制度設計などの基礎資料作成を目的として実施した。

2 調査の設計

- (1) 調査の方法：往復郵送調査法
- (2) 調査の期間：平成 27 年 10 月 14 日（水）～10 月 26 日（月）
- (3) 調査の対象者：県内の市町に居住する 20 歳以上の男女 5,500 人
- (4) 対象者の抽出手順（方法）：層化二段無作為抽出法
 - ①県内の市町（23 市 12 町）を、5 地域の層に分割し、その地域を市部と町部に層化する。
 - ②調査対象者数は、標本誤差を 3%、回収率を 30%と想定し、5,500 人とした。
 $5,500 \text{ 人（対象者数）} \times 30\% \text{（回収率）} \approx 1,650 \text{ 人（標本誤差 3\%）}$
 - ③対象者の割当数にあたり、市部は全市（静岡市・浜松市は全区）、町部（伊豆半島地域は 3 町、東部地域は 4 町、志太榛原・中東遠地域は 2 町）とした。
 - ④平成 27 年 4 月 2 日現在の選挙人名簿登録者総数から、5,500 人を各層別に比例配分し、対象者を抽出した。

地域別の割振り	成人者数	配分比	抽出数	回収数	回収率
静岡県（総計）	3,031,966		5,500	2,019	36.7%
伊豆半島地域	209,227	6.90%	395	146	37.0%
東部地域	791,351	26.10%	1,425	522	36.6%
中部地域	587,458	19.38%	1,062	362	34.1%
志太榛原・中東遠地域	752,268	24.81%	1,367	508	37.2%
西部地域	691,662	22.81%	1,251	436	34.9%
居住地無回答				45	

- (5) 調査回収結果 回収数：2,025 人（36.8%） 有効回収数 2,019 人（36.7%）

3 調査の項目

- (1) 「森林（もり）づくり県民税」、「森の力再生事業」の認知度
- (2) 「森の力再生事業」についての評価
- (3) 「森の力」が低下することに対しての問題意識
- (4) 荒廃森林再生施策の継続に対しての判断
- (5) 「森林（もり）づくり県民税」を負担することへの理解度合
- (6) 「森の力再生事業」や「森林（もり）づくり県民税」についての意見や感想
- (7) 回答者属性 性、年代、仕事の業種、居住地の市町、居住地の周辺環境

4 調査の実施機関

株式会社SBSプロモーション

5 報告書の見方

- ◆結果は百分率で表示し、小数第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
- ◆数値やグラフの中の「件数」、「n」（number of case の略）は回答者総数（あるいは分類別の該当者数）を示し、回答比率はこれを100%であらわした。
- ◆調査対象者の属性に無回答があるため、数表や図表の内訳の合計が全体の回答者数と異なる場合がある。無回答は全体の比率計算に含めている。

Ⅱ 調査の結果

1 調査回答者の属性

問7 あなたの性別を教えてください。（1つだけ○をつけてください。）

	回答数	男性	女性	無回答
合計	2,019件	933件 46.2%	1,081件 53.5%	5件 0.2%

問8 あなたの年齢はおいくつですか。（1つだけ○をつけてください。）

	回答数	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答
合計	2,019件	135件 6.7%	228件 11.3%	297件 14.7%	390件 19.3%	557件 27.6%	410件 20.3%	2件 0.1%

問9 あなたのお住まいの周りの状況をお答えください。（1つだけ○をしてください）

	回答数	住宅の多い地区	商店の多い地区	農地の多い地区	森林の多い地区	無回答
合計	2,019件	937件 46.4%	29件 1.4%	605件 30.0%	436件 21.6%	12件 0.6%

問10 あなたのお住まいの市町をお答えください。（1つだけ○をつけてください。）

	回答数	伊豆半島地域	東部地域	中部地域	中志太遠榛地原域・	西部地域	無回答
合計	2,019件	146件 7.2%	522件 25.9%	362件 17.9%	508件 25.2%	436件 21.6%	45件 2.2%

問11 あなたのお仕事を教えてください。二つ以上のお仕事をお持ちの人は、収入の多い方の仕事を1つ教えてください。（1つだけ○をつけてください。）

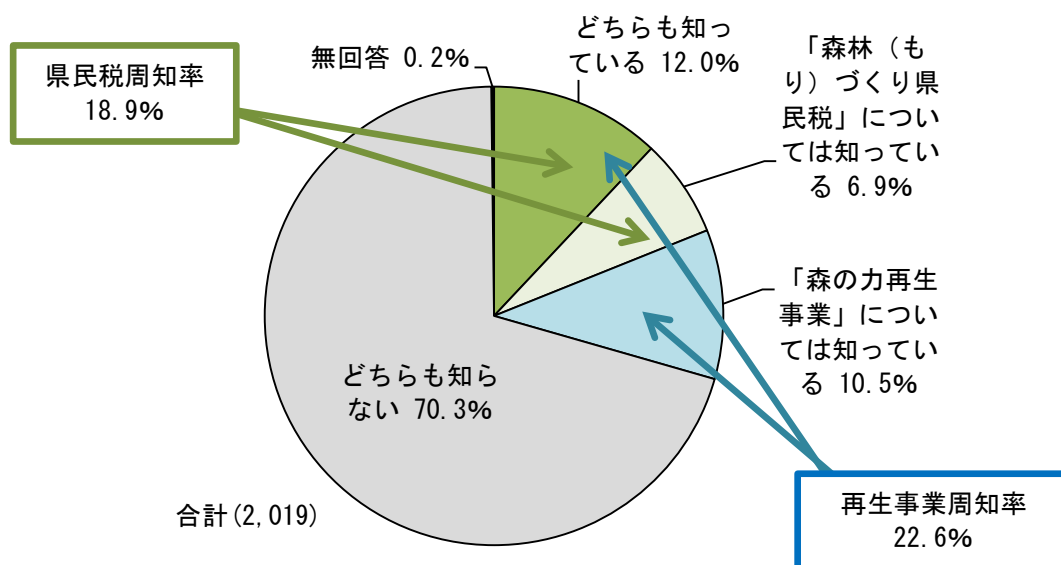
	回答数	就業業種別（くくり）						無回答
		1次産業就業者	2次産業就業者	3次産業就業者	その他の就業者	学無職・他（主婦（夫））	無職（収入あり）	
合計	2,019件	39件 2.1%	267件 14.6%	634件 34.7%	48件 2.6%	325件 17.8%	449件 24.6%	65件 3.6%

「森林(もり)づくり県民税」、「森の力再生事業」の認知度

問1 静岡県では、平成18年度から、県民の皆様に「森林(もり)づくり県民税」を負担していただき、これを財源に荒廃森林の再生を図る「森の力再生事業」を実施してきました。あなたは、この「森林(もり)づくり県民税」及び「森の力再生事業」のことをご存知ですか。(1つだけ○をつけてください。)

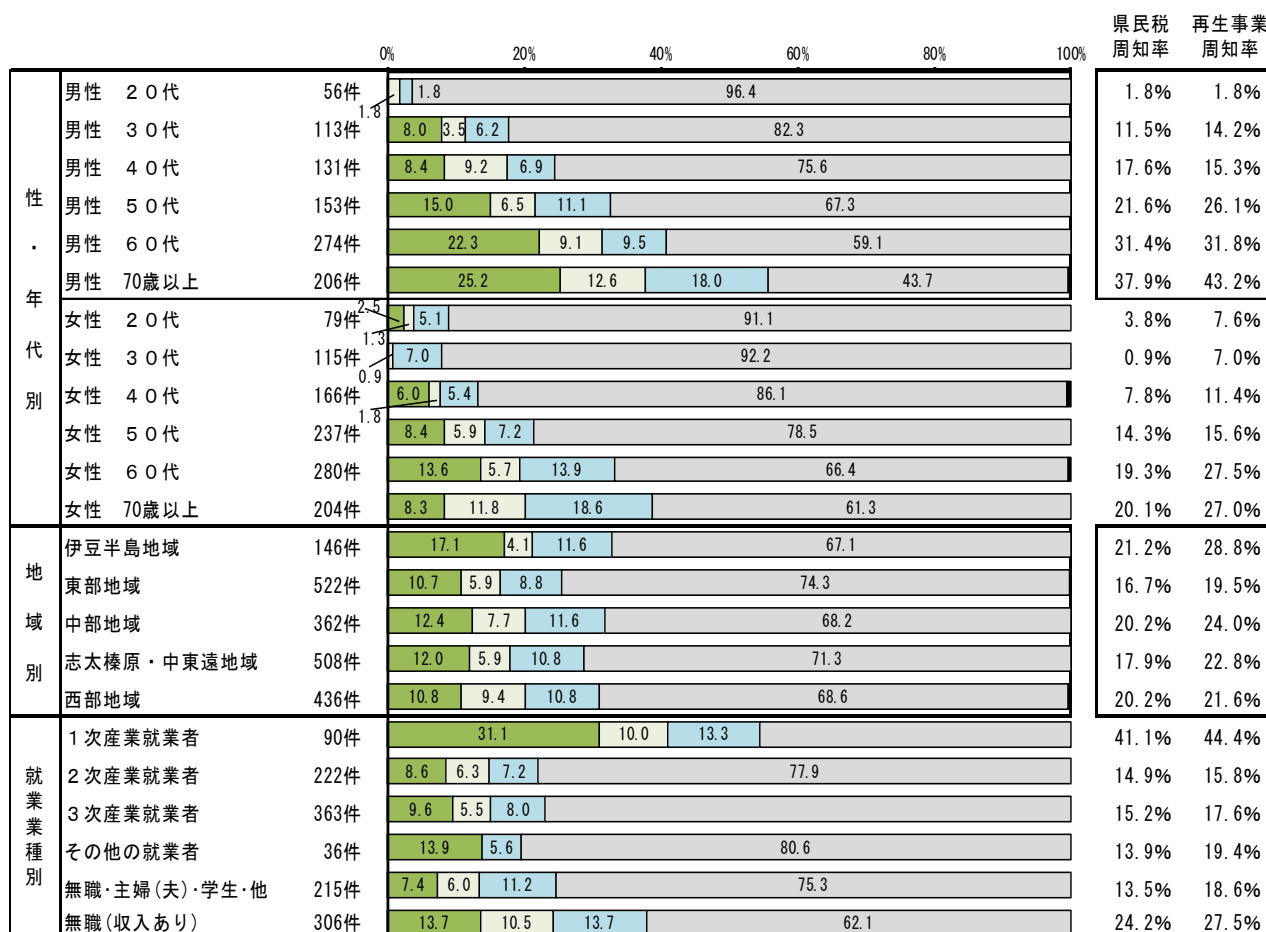
「森林(もり)づくり県民税」又は「森の力再生事業」のどちらか一方でも知っている人は、回答者の約3割であった。

- 「事業」と「県民税」のどちらも知っている人は12.0%
- 「森林(もり)づくり県民税」を知っている人は18.9%
- 「森の力再生事業」を知っている人は22.6%
- どちらも知らない人は70.3%

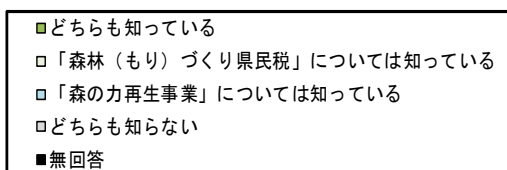


【調査結果】

- ◆ 性・年代別にみると、男女ともに「森林（もり）づくり県民税」、「森の力再生事業」のいずれの周知率も、年代が高くなるにつれ高くなっている。
- ◆ 地域別にみると、「森林（もり）づくり県民税」、「森の力再生事業」のいずれの周知率も、伊豆半島地域（県民税 21.2%、再生事業 28.8%）が最も高く、東部地区（同 16.7%、19.5%）が最も低い。
- ◆ 就業業種別にみると、1次産業従業者は「森林（もり）づくり県民税」（40.7%）、「森の力再生事業」（48.9%）の周知率は他の層に比べ高く、2次産業従業者（県民税 11.9%、再生事業 15.1%）は低い。



※無回答値は無表記

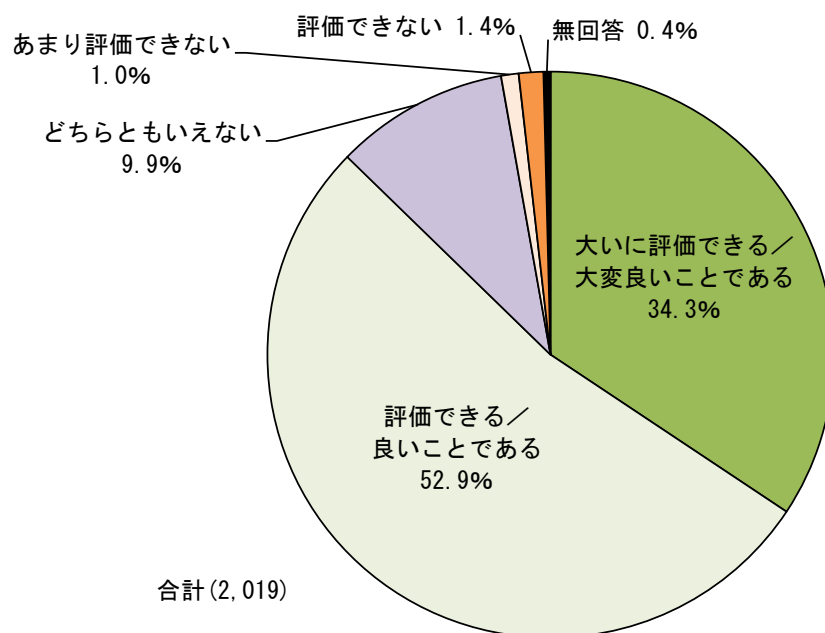


「森の力再生事業」についての評価

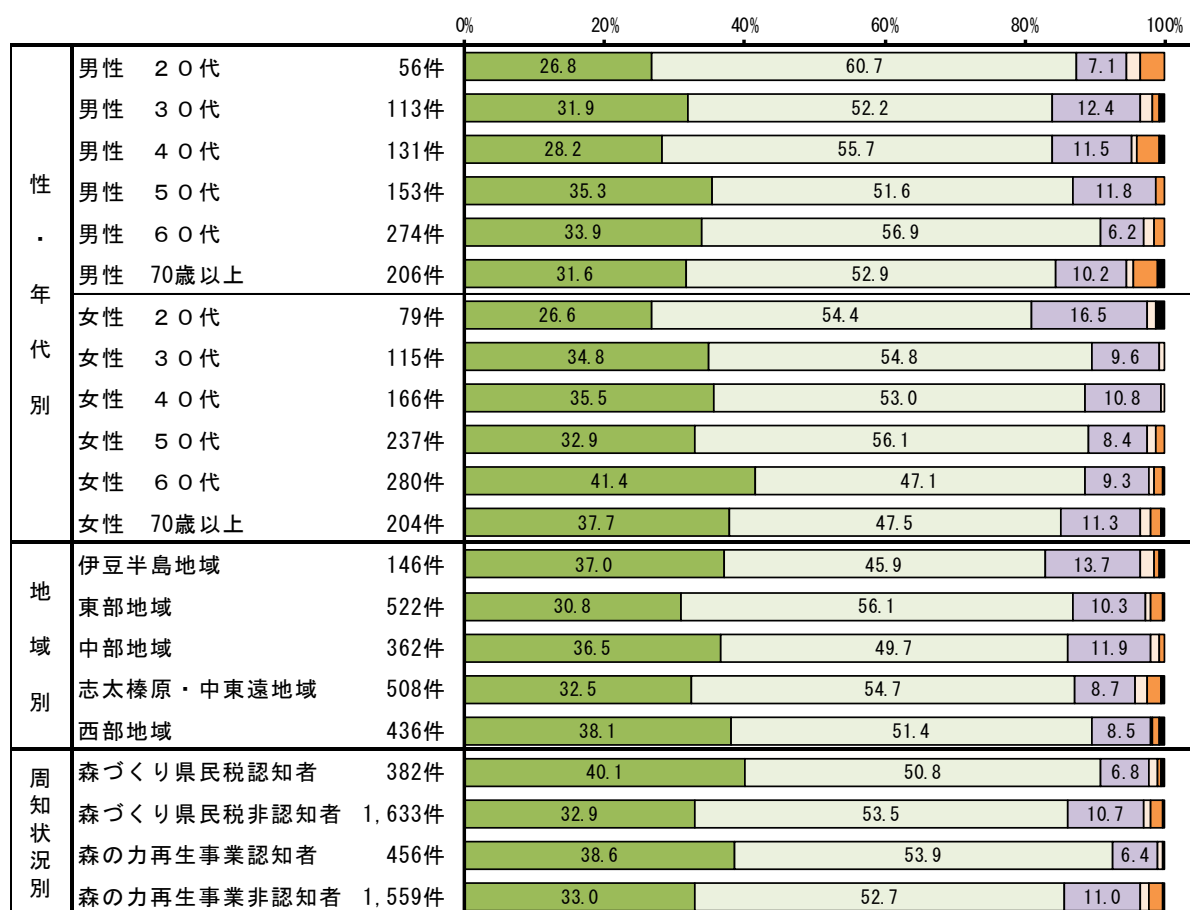
問2 森の力再生事業により、これまでの9年間に約1万1千ヘクタール（浜名湖の1.7倍に相当する面積）の荒廃森林が再生されましたが、このことについて、どのようにお考えですか。（1つだけ○をつけてください。）

「森の力再生事業」への評価は、約8割の人が評価をしている。

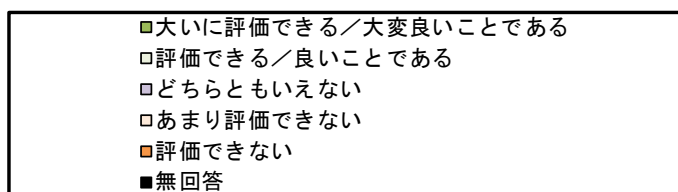
- 「大いに評価できる」(34.3%)
- 「評価できる」(52.9%)
- } 評価層の割合は87.2%
- 「評価できない」(1.4%)
- 「あまり評価できない」(1.0%)
- } 非評価層の割合は2.4%



- ◆ 性・年代別に、「大いに評価できる」と「評価できる」を合わせた評価層の割合が高い層をあげると、「男性 60 代」(90.8%) は 9 割を超え、「男性 20 代」(87.5%)、「女性 30 代」(89.6%)、「女性 40 代」(88.5%)、「女性 50 代」(89.0%)、「女性 60 代」(88.5%) も 9 割に近くになっている。
- ◆ 「森林（もり）づくり県民税」と「森の力再生事業」の各々の周知状況別にみると、「森林（もり）づくり県民税」認知者は 90.9%、「森の力再生事業」認知者は 92.5%と 9 割を超えている。認知者と非認知者では「大いに評価できる」と「評価できる」を合わせた評価層に約 5 %の差が見られることから、PR 活動を進め認知度を高めることで事業を評価する人も増加すると思われる。



※ 5%未満の値は無表記

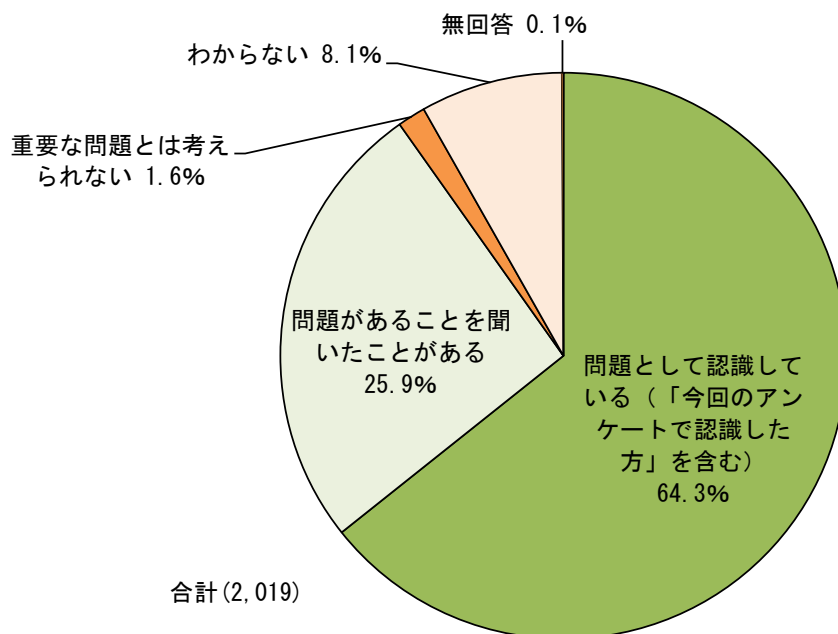


「森の力」が低下することに対する問題意識

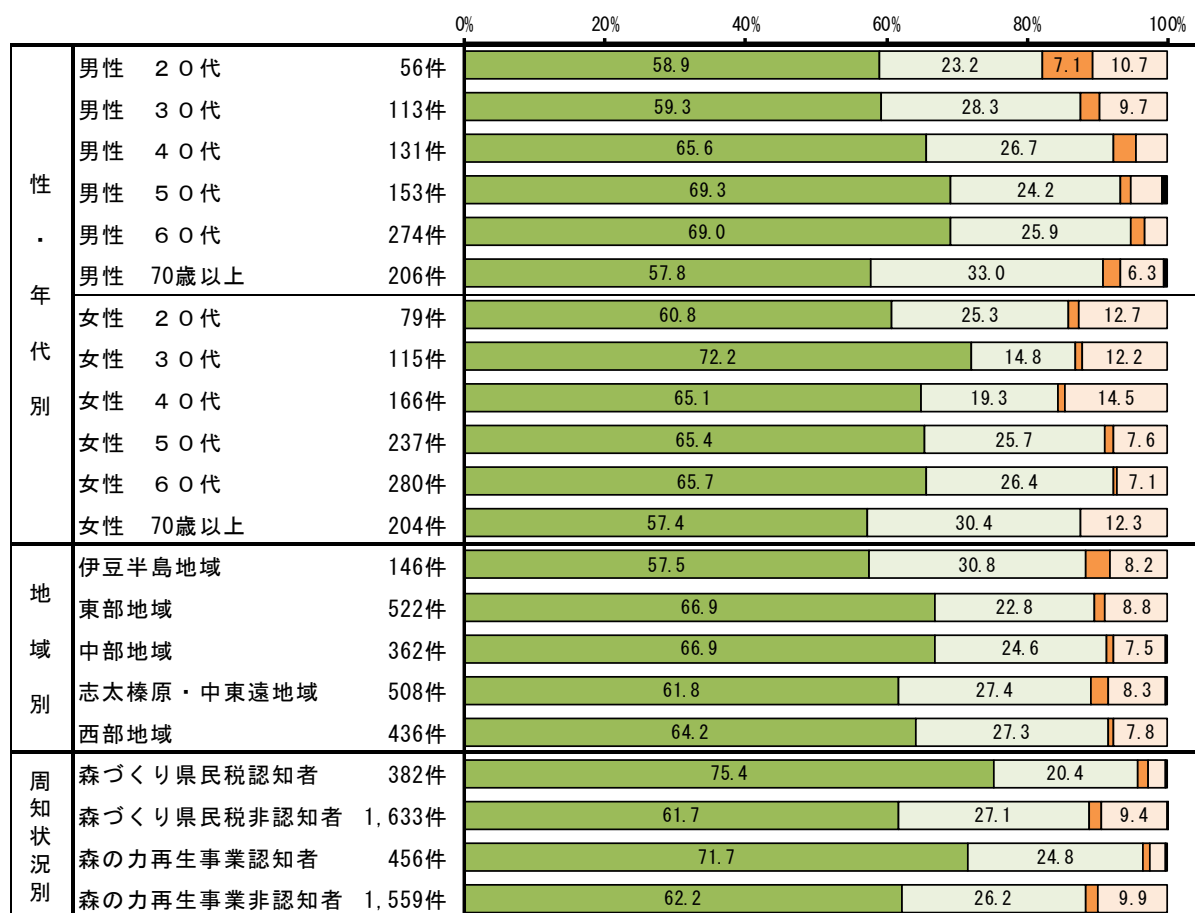
問3 間伐が遅れている人工林、気象災害を受けた人工林、放置された竹林など新たな荒廃が進行した森林が見られるようになり、水源かん養や土砂災害防止などの「森の力」が低下するおそれがあることについて、どのようにお考えですか。

「森の力」が低下することに対して、回答者の6割以上は問題意識として捉えている。

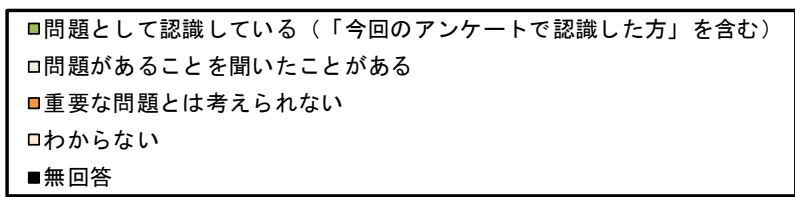
- 「問題として認識している（「今回のアンケートで認識した方」を含む）」の危機感を認識している層の割合は64.3%で最も高い。
 - 「問題があることを聞いたことがある」は25.9%
 - 「重要な問題とは考えられない」は1.6%
- } 危機感が低い人は3割程度



- ◆ 性・年代別に、「大いに評価できる」と「評価できる」を合わせた評価層の割合が高い層をあげると、「男性 60代」(90.8%)は9割を超え、「男性 20代」(87.5%)、「女性 30代」(89.6%)、「女性 40代」(88.5%)、「女性 50代」(89.0%)、「女性 60代」(88.5%)も9割に近くになっている。
- ◆ 「森林(もり)づくり県民税」と「森の力再生事業」の各々の周知状況別に評価層の割合をみると、「森林(もり)づくり県民税」認知者は90.9%、「森の力再生事業」認知者は92.5%と9割を超えている。



※5%未満の値は無表記

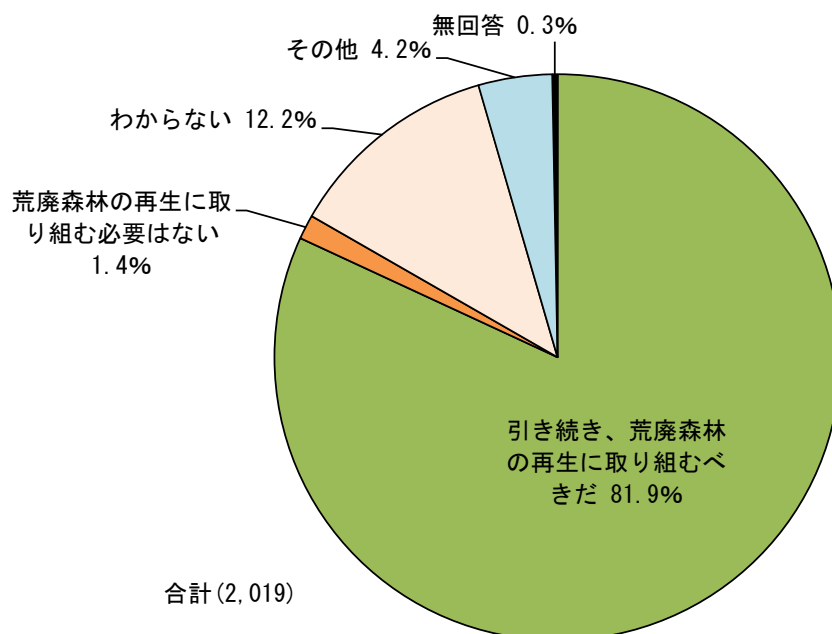


荒廃森林再生施策の継続に対する判断

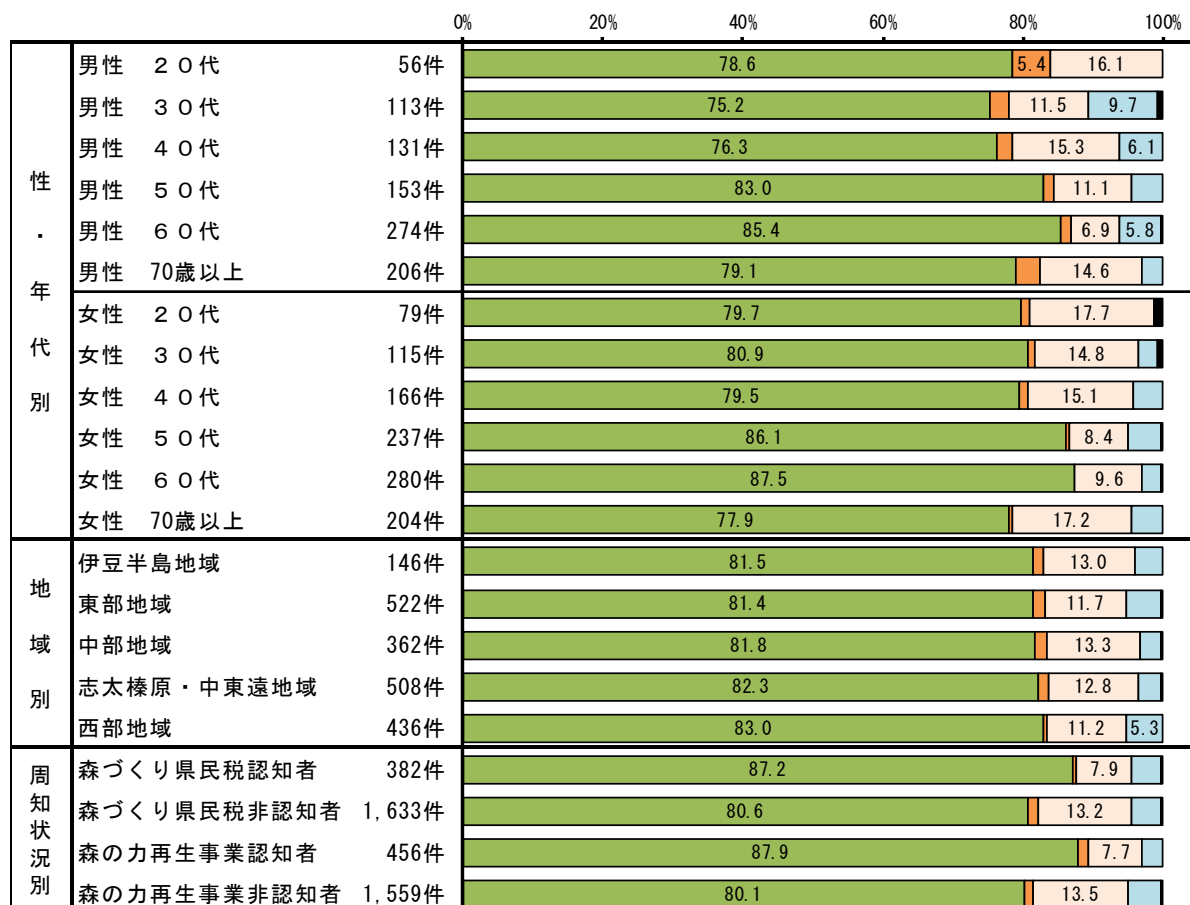
問4 「森の力」が低下するおそれがあり、緊急に整備が必要であるが、急傾斜地であったり林道などから遠いなどの理由で、森林所有者自らによる整備が困難な荒廃森林において、引き続き、県の施策として荒廃森林の再生に取り組むことについて、どのようにお考えですか。（1つだけ○をつけてください。）

荒廃森林再生施策の継続に対して、回答者の8割以上の人は事業継続するべきという意見であった。

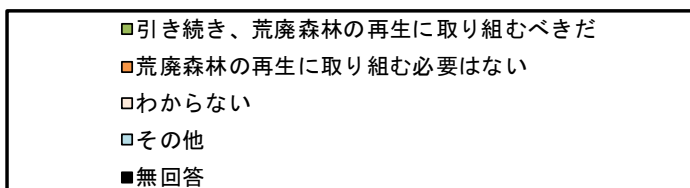
- 「引き続き、荒廃森林の再生に取り組むべきだ」…81.9%
- 「荒廃森林の再生に取り組む必要はない」…1.4%
- 「わからない」「その他」…16.4%



- ◆ 性・年代別に「引き続き、荒廃森林の再生に取り組むべきだ」の継続肯定層の割合が低い層をあげると、「男性30代」(75.2%)、「男性40代」(76.3%)となる。



※5%未満の値は無表記

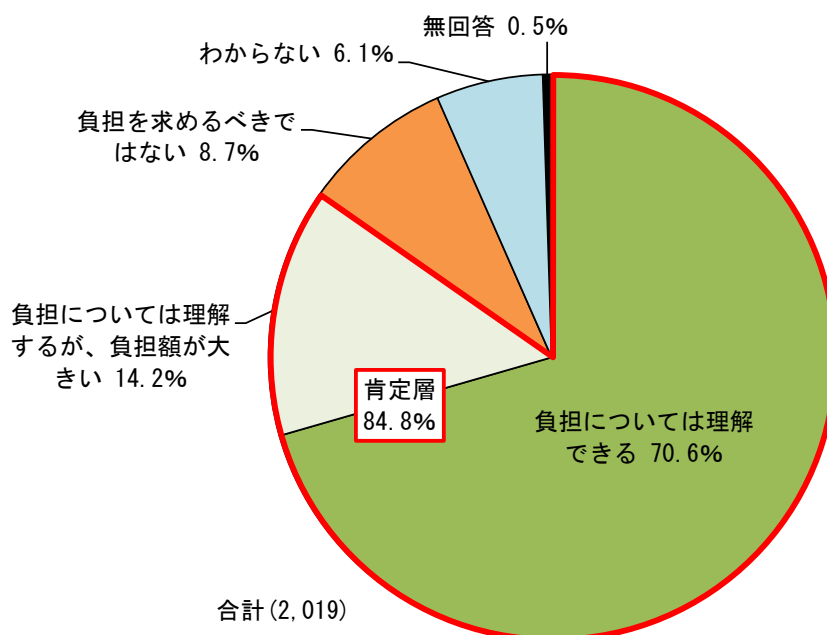


「森林(もり)づくり県民税」を負担することへの理解度合

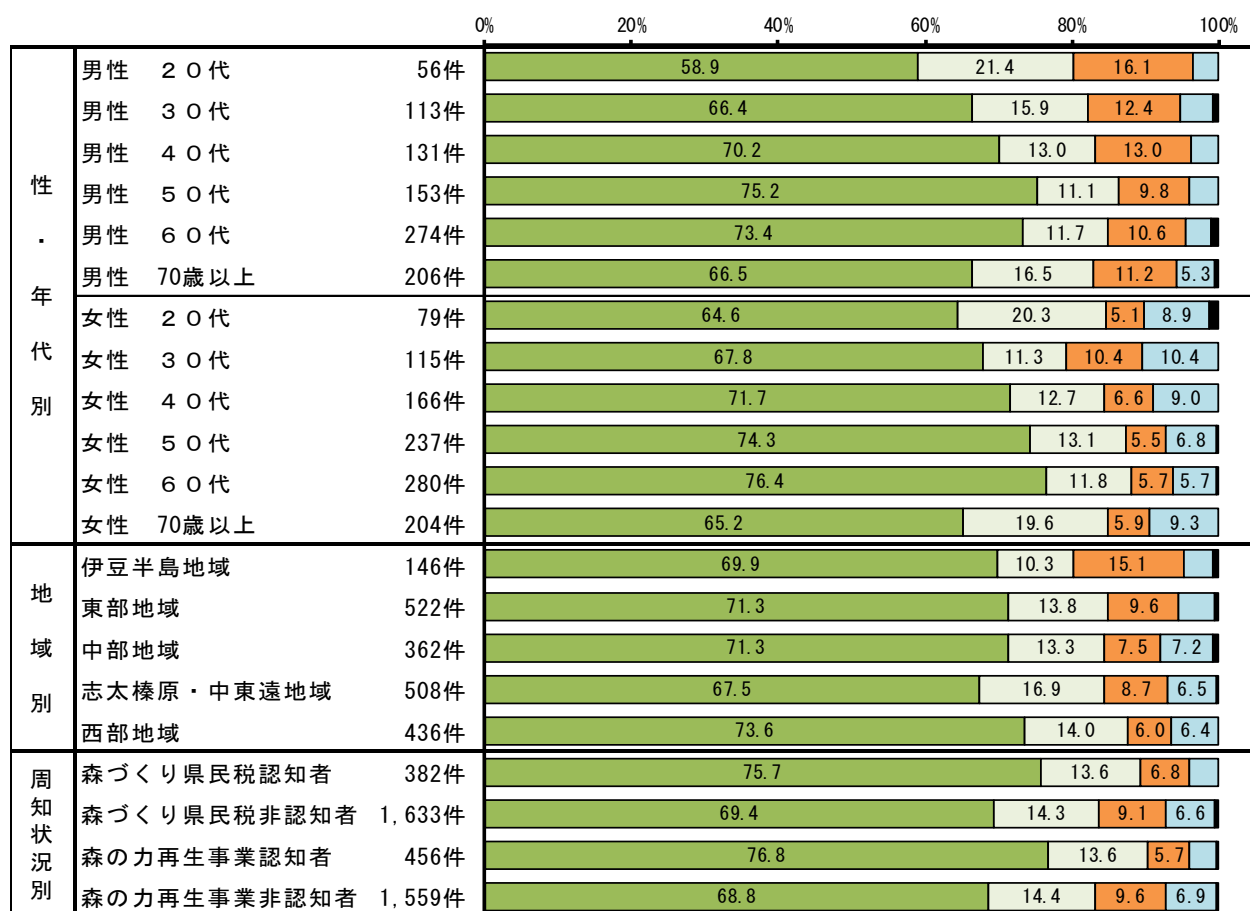
問5 今後、緊急に整備が必要な荒廃森林は、約1万1千ヘクタールと見込まれます。これを10年間で再生するため、仮に、県民税の超過課税で財源を確保することとした場合、これまでと同様に、個人の方には年400円（法人では資本金の額に応じて、年1,000円～40,000円）を負担していただくこととなります。この負担について、あなたはどのようにお考えですか。（1つだけ○をつけてください。）

「森林（もり）づくり県民税」負担の理解度は、回答者の8割以上が肯定的

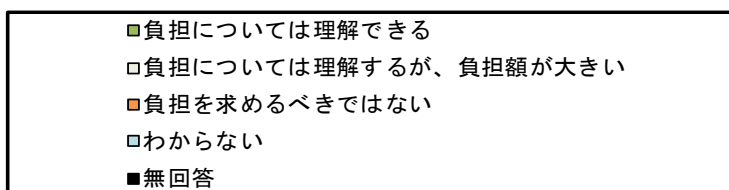
- 「負担については理解できる」は70.6%で最も多く
- 「負担については理解するが、負担額が大きい」は14.2%
→合わせた84.8%は税制度の肯定層
- 「負担を求めべきではない」の否定層は8.7%となっている。



- ◆ 性・年代別に「負担については理解できる」と「負担については理解するが、負担額が大きい」を合わせた肯定層の割合は、「女性 60 代」(88.2%)、「女性 50 代」(88.5%)、「男性 50 代」(86.3%) となり、「男性 20 代」が 80.2% と最も低くなっている。
- ◆ 「森林（もり）づくり県民税」と「森の力再生事業」の各々の周知状況別に肯定層の割合をみると、「森林（もり）づくり県民税」認知者は 89.3%、「森の力再生事業」認知者は 90.4% となっている。



※ 5%未満の「わからない」「無回答」値は無表記



「森の力再生事業」と「森林（もり）づくり県民税」の
継続についての県民アンケート」

平成 27 年 11 月

編集・発行：静岡県森林計画課

静岡市葵区追手町 9 - 6

TEL 054-221-2613